

科目名	社会福祉概論（栄養士必修：NR・SA 必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2		
担当教員	木村 淳也				
内容および計画	〔授業のねらい〕 ①「食」「栄養」とおしてかかわる人の暮らしについて理解する。 ②人の暮らしを支える基本的な社会福祉のしくみを理解する。 ③他・多専門職との協働・連携における栄養士の役割を理解する。 〔授業概要〕 本科目は、栄養士養成カリキュラムにおける「専門基礎分野」のうち、「社会・環境（人間や生活）と健康」に位置づけられています。 「なぜ栄養士が社会福祉を学ぶ必要があるのか」を出発点に、人々の暮らしの中で「食と栄養」の専門職として働くうえで必要な社会福祉の基本的な理念、しくみ、サービスについて学びます。				
1	社会福祉を学ぶことの意義				
2	社会福祉の意味と対象				
3	私たちの生活と社会保障 ―生活を支える社会保障の体系と社会保険―				
4	公的扶助 ―最低限度の生活保障―				
5	高齢者の福祉 ―高齢者の生活と介護―				
6	児童家庭福祉 ―子どもと子育て家庭の生活―				
7	障害者の福祉 ―地域でみんなとともに暮らすために―				
8	地域福祉 ―福祉マップをつくろう―				
9	地域福祉 ―地域で安心して暮らし続けるために―				
10	社会福祉基礎構造改革と権利擁護 ―利用者本位の社会福祉の構築―				
11	社会福祉における援助の方法				
12	社会福祉の実施機関・施設				
13	社会福祉の専門職				
14	社会福祉の分野で働く栄養士				
15	まとめ				
教科書					
タイトル		著者名	出版社	ISBN	発行年
『六訂 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉』		岩松珠美・三谷嘉明編	㈱みらい	9784860155056	2020
必要に応じて補足資料等を配布する場合があります。					
参考書					
成績評価					
評価方法					割合(%)
授業内ミニレポート（リアクションペーパーを含む）					20
期末レポート					80

学習到達目標	[到達目標] ①「食」「栄養」とおしてかわる人の暮らしについて説明できる。 ②人の暮らしを支える基本的な社会福祉のしくみについて説明できる。 ③他・多専門職との協働・連携のなかでの栄養士の役割について説明できる。
先修条件	
実務経験	実務経験有り： 福島県教育委員会、本宮市教育委員会、郡山市教育委員会、南会津町教育委員会におけるスクールソーシャルワーカースーパーバイザー等の経験を活かし社会福祉科目を担当している。
その他	・新聞などで身近な福祉に関する課題について知識を得るよう心がけてください。 ・授業では自分の意見を大切にすると共に、他者の意見も大切にしよう心がけてください。 ・教科書や配布資料等を用いて、復習、予習を心がけてください。 ・授業内で ICT 機器（スマホ、タブレット等）を使用する場合もあるため各自持参ください。